

## 第2学年英語科学習指導案

日時 平成27年11月 6日(金) 4校時  
学級 2年B組 男子12名 女子16名 計28名  
指導者 教諭 武田 由香

### 1 単元名 “Program 9 A Priest in a Mask” (Sunshine English Course 2)

#### 2 単元について

##### (1) 教材について

比較の表現を扱う。形容詞、副詞の語尾変化が **-er, -est** の変化をするものから学習する。また、**as～as** も扱う。比較することで物事を詳しく説明することができるようになる。自分や他者を比較して特徴を際立たせたり、選択の根拠を明確にしたりする働きもあり、説得力のある表現ができるようになるので、使い方を十分練習させ、定着を図る必要がある。そこで次の単元で **more, most** を用いた比較表現をさらに連続して学習し、そのあとで自分たちの町の良さをアピールするポスター作りをする活動につなげたい。

題材はメキシコのある神父兼プロレスラーの自叙伝の物語である。教会の役割やプロレスが盛んな国であるという背景も知らせながら、道徳的な要素を多く含んでいるので、まじめに生きることや人を支えることについて行間を読みとらせ、考えを発表させたい。

##### (2) 生徒について

素直な生徒達で、授業では発表に積極的に取り組む。また与えられた課題にも良く取り組む。発言が課題から離れた意見となることもあることから、興味を引く課題を設定する必要があると考えている。毎週1回の課題提出は多くの生徒が提出している。提出することのみにとらわれている生徒も多いことから、学習に対する意識を高めるとともに内容を効果的なものに工夫していきたいと考えている。

形容詞についてのレディネスを調べたところ、「小さい」が形容詞だとわかる生徒は、28人中11人であった。語順や単語のスペルなどの基本を繰り返し扱っているが、品詞の機能を確認しながら進める必要もある。

##### (3) 指導について

授業では、課題解決形で授業進めると、主体的によく取り組んでいる。また前時を想起させても生徒の記憶に残っていることが多い。習得させる文法にふさわしい課題を考え、できるだけ多く取り組ませたいと考えている。

**Program9, 10** と2単元を通して比較表現を学習した後、自分たちの町の良さを書いてポスターを作成する。作成したものを実際に、町の観光スポットに掲示してもらいたいと考えている。

グループでの話し合いではどんな内容で書くかについて友達の意見が参考になると感じていて、出てくる意見も面白いものが多い。そこで、内容について意見を練り上げ、より良い表現を工夫させていきたい。また、発表した内容についての感想を聞いたり、意見交換をしたりすることで英語が伝わる喜びやより良い考えにつなげていきたい。

### 3 単元の指導目標

#### (1) 比較表現を用いて自分たちの町を紹介する文を書く。

\*本校CAN DO到達目標:

身近な話題について、簡単な英語で自分の意見や気持ち、物や人を説明する文を書くことができる。

#### (2) 比較表現を用いた文の構造を理解する。

#### (3) 物語を読み、学んだことや感想を書く。

## 4 単元の指導計画及び評価規準

## (1) 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現	理解	言語や文化についての知識・理解
①積極的に自分の考えを話している。	① 比較表現を用いて自分の町を紹介する文を書くことができる。 ② まとまりのある文章を読み取り、自分の考えを書くことができる。	本単元では評価しない。	① 比較表現を用いた文の構造を理解している。

## (2) 指導計画 (7時間)

時数	学習内容	評価規準	評価の方法
1	・ある部類について、比較する文を書く。 ・比較級 <i>-er</i> を用いた文の構造を知る。 ・比較級 <i>-er</i> を用いて、様子を描写する練習を行う。	・表現① ・言語①	作文チェック 活動の観察 発表
2	・教科書本文における比較表現の使われ方について理解している。 ・教科書本文を理解し、「なぜ神父になろうとしたか」について意見を述べる。	・言語① ・表現②	作文チェック
3 本時	・ガイドポスター作りに向けて、川崎で一番のものを紹介する文を書く。 ・最上級 <i>-est</i> を用いた文の構造を知る。 ・最上級 <i>-est</i> を用いた文を使えるように練習する。	・表現① ・言語①	作文チェック 活動の観察 発表
4	・教科書本文における比較表現の使われ方について理解している。 ・教科書本文を理解し、「セルジオが有名になった理由」について意見を述べる。	・言語① ・表現②	作文チェック
5	・ガイドポスター作りに向けて、川崎で他の有名なものと同じくらい良いものを紹介する文を書く。 ・同等比較を用いた文の構造を知る。	・表現① ・言語①	作文チェック 活動の観察 発表
6	・教科書本文における比較表現の使われ方について理解している。 ・教科書本文の内容をもとに、この物語から学んだことについて書く。	・言語① ・表現②	作文チェック
7	まとめ・ワーク		

## まとめ Program 10 終了後

・川崎の観光ガイドポスターを作る。	・表現①	作文チェック 活動の観察 発表
-------------------	------	--------------------

## 5 本時の指導

(1) 本時の目標 最上級 *-est* を用いて、川崎を宣伝するキャッチコピーを書くことができる。

(2) 研究とのかかわり

- ① 教材との対話：川崎の良いところを考え、比較表現を用いて伝えようとする。
- ② 他者との対話：ペアで問題の答えを相談する。川崎を宣伝する文を書き、グループ内でお互いにより良い内容にするために考えを出し合う。感想や意見も交流し、考えを深める。
- ③ 自己との対話：宣伝する内容を考え、比較表現を用いて文を書こうとする。また、友達の発表に対して感想や意見を発表する。

(3) 本時の展開

英語3

段階	学 習 活 動	教師の支援と留意点 【対話場面】	形態	評価の観点【】と方法 ( ) 資料○
導入 10分	1 挨拶 2 既習事項の想起、確認 ・動詞句を確認する。 ・比較級を復習する。 3 課題の確認  川崎を宣伝するキャッチコピーを書こう。	・絵を見て比較級の文を言わせる。	一斉  個人	○フラッシュピクチャ
展開 32分	4 課題の理解 ・キャッチコピー作成ガイドに共通する最上級の表現に気づく。 ・川崎についての質問への答えをペアで考え答える。 What is famous in Kawasaki? What kind of apples are the tastiest?  ・最上級の表現を理解する。 Ichiro is the tallest of the three. 5 文型練習 ・形容詞・副詞の語尾変化を確認する。 ・絵を用いて最上級の文を練習する。 Luffi is the strongest of the three. ・教科書 Basic Dialog を暗記し発表する。 6 課題の追求 ・最上級を使って、川崎を宣伝するポスターにふさわしい文を書く。 ・書いた文をグループ内で読み合い、お互いにアドバイスしてより良い文を作成する。そのうち、最もふさわしい文を選ぶ。	【教材との対話】 ・使用されている頻度の高い言葉に注意させ、気づかせる。 ・相談の際に使う表現を確認する。 I think the answer is ---. What do you think? ・答えは単語だけでもかまわない。できるだけ主語、動詞を意識させて質問の答えを書くように促す。 ・Do you like “Shinano Gold”? ・3つ以上のものからの選択であることに言及する。  ・largest, tastiest の語尾に注意させる。 ・単語の意味を確認する。  ・in XX も知らせる。  【自己との対話】 ・辞書を使うなどして1文～3文作るように促す。 【他者との対話】 ・書いた内容についてより良い表現を助言する。 ・間違いを直す。 ・選んだ根拠を明確にさせる。	個人  ペア  一斉  個人  ペア  個人  グループ	○モニター提示  ○ワークシート  【言語】 比較表現を用いた文の構造を理解している。 ○ワークシート  ○フラッシュピクチャ  【表現】 最上級を用いて、川崎を紹介する文を書くことができる。 (記述)
終末 8分	7 課題の解決 ・選んだ文をボードに提示しながら発表する。 8 次時の予告 9 挨拶	【自己との対話】 ・選んだ根拠も発表させる。 ・発表について、感想を発表させる。 ・セルジオは何の一番か、なぜそうなったかを読むことを知らせる。 ・授業の振り返りの発表をさせる。	グループ 個人	○グループ用ボード 【言語】 発表された文を理解することができる。 (観察・発表)